



ヨーイドン（神石小学校）

# みんなの 町議会

 神石高原町

第3号  
2005年7月

主な内容

|           |    |
|-----------|----|
| 審議された内容   | 2  |
| 審議中の質疑    | 4  |
| 一般質問      | 6  |
| 委員会報告     | 11 |
| 病院の経過     | 15 |
| 元気なグループ紹介 | 16 |

# 平成17年度 補正予算可決

## 六月定例会

六月定例会は、六月二十一日に招集され、二十四日までの四日間開かれまし  
た。  
今回の定例会（第四回）では、平成十七年度一般会計・各特別会計補正予算、神石高原町過疎地域  
自立促進計画について等、十四議案が提案され、すべて原案どおり可決しました。  
また、県立神石三和病院の存続を求める意見書四件が提出され、すべて採択されました。  
一般質問では、九名の議員が当面する行政問題をたしました。

## 高速インターネットADSLに補助

平成十七年度六月補  
正予算は、一般会計で三  
億三千万円、特別会計で  
一億二千三百万円増額さ  
れ、それぞれ百十億三千  
万円、六十一億三百万円  
となりました。  
主なものは、一般会計  
では、新規事業として高  
速インターネット対応の  
ADSL導入に三千三百  
万円の補助金を、減債基  
金への積立金に二億七千  
万円を計上しています。  
特別会計では、介護保険  
特別会計にて介護保険制  
度見直しに対するシステ  
ム変更のために一千八百  
万円、簡易水道事業特別  
会計で、近田花済地区の  
水道異変対策で一千二百  
万円をそれぞれ計上して

います。  
ふるさとふれあい事業  
補助金一億円のうち、敬  
老会開催経費など本庁各  
所管課実施事業への充当  
分一千七百四十四万円が  
減額されました。  
また、第三セクター各  
社の経営状況の報告があ  
り、各社とも厳しい状況  
の中で努力されています  
が、補助金のあり方、統  
合すべきなど今後の課  
題もあります。

## 可決された補正予算の明細

平成 17 年度補正予算明細表

単位：千円

| 会 計 名 称       | 当初予算額      | 補正予算額<br>(歳入歳出同額) | 補正後予算額     |
|---------------|------------|-------------------|------------|
| 一般会計          | 10,700,000 | 330,000           | 11,030,000 |
| 特別会計          | 5,979,500  | 123,089           | 6,102,589  |
| 国民健康保険特別会計    | 1,185,000  | 16,242            | 1,195,242  |
| 老人保健特別会計      | 2,440,000  | 7,153             | 2,447,153  |
| 介護保険特別会計      | 1,682,000  | 83,088            | 1,765,088  |
| 簡易水道事業特別会計    | 171,000    | 14,193            | 185,193    |
| 飲料水供給施設事業特別会計 | 219,000    | 0                 | 219,000    |
| 農業集落排水事業特別会計  | 247,000    | 1,761             | 248,761    |
| 観光施設事業特別会計    | 35,400     | 652               | 41,920     |
| 分収育林事業特別会計    | 100        | 0                 | 100        |
| 合 計           | 16,679,500 | 453,089           | 17,132,589 |

# こんなことが 決まりました

## 過疎地域自立促進計画

神石高原町過疎地域自立促進計画の後期分（平成十七年度から二十一年度まで）が策定された。この計画は、新町建設計画を基に策定されたものである。

## 辺地総合整備計画

辺地に係る公共的施設の総合整備後期分（平成十七年度から二十一年度まで）について、財政計画が策定された。小野辺地（町道門原線・農道高野線用地）、新坂辺地（町道桜尾線、古川辺地（町道仁後線）の三地区で予算は六億五千万円となっている。

## 工事請負契約の締結

工事請負契約の締結について、①平成十七年度森林居住環境整備事業として「下谷・米山地区」の用水施設整備工事、②単独町費飲料水供給施設整備事業として「新城地区」の導水管布設工事の入札が執行され、それぞれ契約が締結された。

## 町民野球場設置及び管理条例の一部改正

神石高原町民野球場設置及び管理条例が他の体育施設との均衡を図るために、使用料の減免の項を付け加えた。（この条例は平成十七年四月一日から適用される。）

## 非常勤消防団員の退職報奨金

非常勤消防団員の退職報奨金支給条例の一部が改正され、退職報奨金が引上げられた。（分団長から班長まで、十年以上二十五年未満の在籍につき二千元の増額。）

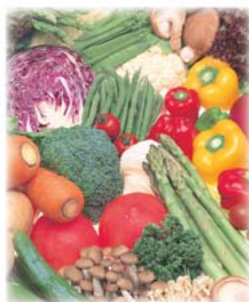
## 非核・平和自治体宣言

世界平和は人類共通の希求するところであり、核戦争による人類絶滅の危機から、住民一人ひとりの生命とくらしを守るために、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に寄与することが、広島に存する自治体に課せられた使命であることを認識して「非核・平和自治体宣言」を可決した。

第3セクター経営状況（平成16年度決算集計表） 単位：千円

| 会社名                | 営業収益    | 営業費用    | 未処分利益                | 内委託料   |
|--------------------|---------|---------|----------------------|--------|
| 株式会社 神帝釈映スコーラ      | 120,502 | 123,831 | △ 4,387<br>(△ 878)   | 10,578 |
| 南油木特産販売            | 117,860 | 117,165 | 926<br>(474)         | 1,676  |
| 神石高原直売公社           | 239,076 | 238,056 | △ 1,943<br>(△ 2,842) | 350    |
| さんわ<br>182ステーション   | 278,565 | 276,828 | 1,271<br>(197)       | 3,740  |
| 三和農業公社<br>H16/1～12 | 28,140  | 27,733  | 772<br>(563)         | 1,197  |
| 三和農業公社<br>H17/1～3  | 6,262   | 6,239   | 836<br>(772)         | 3,110  |
| 豊松陽光の里公社           | 59,402  | 58,914  | 56<br>(△ 431)        | 9,535  |

（ ）内はH15年度分





# 審議中

## こんな質疑がありました

### 問 ふるさとふれあい事業費枠の堅持を

**Q** 各旧町村各年度二千五百万円枠うち、十六年度は二百万円を配分した。  
未配分二千三百万円の配分と将来は。

**A** 町長  
各年度二千五百万円に加えて、十八年度二百万円、十九年度から二十五年まで各二百万円を配分する。

将来的には、合併協約であること・高原町オンリーの特色ある事業であることの両面を尊重しながらやっていくが、財政的に二十五年まですべて可能かどうかは現段階では言えない。

**Q** ふれあい事業基金を財源として、十七年度各地区で計画された一千七百四十四万七千円を一般事業に振り替えていく。

**A** 助役  
旧町村の特徴的の事業としてこの枠に計上されたものであるが、各地域での協議を経て、一般財源に振り替えたものである。

**Q** 十六年度未執行分四十六万五千円を基金造成積立金としている。今後も同様処理するのか。

**A** 企画課長  
基本的にその様を考えている。

そもそも、これらの事業は一般事業財源で対応すべき性質のものである。ふれあい事業基金十億円は本来の特色ある地域づくりの推進経費として堅持すべきである。

**A** 企画課長  
基本的にその様を考えている。

### 問 水道工事に町内業者を

**Q** この水道工事は、大手業者との共同企業体で入札が行われている。町内の業者では管理能力が無いと言われたが、本当に出来ないのか。旧油木町時代に、同じような入札が行われた。

その時も質問したが、大手業者との共同企業体を組み、町内業者の実績を作ろうと答弁されていた。管理工事は五千万以上が大手業者となっている。今回も一件はわずかに

**A** 環境衛生課長  
オーバーしたのみである。今後同じ方式か。水利計算、電気工事などの実績や施行管理人などを考慮して、今回は大手業者との共同企業体で行った。

今後は地元業者を指名するようにしたい。町内業者の方も努力して頂きたい。



神石踊り娘隊きらきら星（仙養つつじ祭）

## 問 公社・産品市場は再編統合を

**Q** 今、本町が大株主の会社は「油木特産販売」「さんわ182ステーション」「神石高原直売公社」「豊松陽光の里公社」「三和農業公社」「帝釈峡スコラ」の六社があるが、すべてに公的資金

を投入し、結果的に利益がでて国県税を払っている。

運営内容はそれぞれ「旧町村スタイル」で新町に引き継いでいるが、民営化を追求する中で当面再編・統合に踏み切り

体力を強化してより効果的な公的資金を投入すべきである。

特に三和・豊松の農業公社は旧町村範囲内の営業感覚が内外にあり、町の一体化を阻害している。行革の最たるものであるがどのように考えているのか。

**A** 町長

経理上はスコラを除いて黒字であるが、いずれも内容的には多くの問題を抱えている。新年度から一本化する準備をしていきたい。

**Q** 産業課関係の補助制度について、事業ごとに申請期限が三区分されている。

最終精算補正予算に間にあう期限設定に統一しないと受益者が混乱するが見直さないのか。

**A** 産業課長

検討の結果設定したものであるが、新年度から見直す必要がある。

## 採択された意見書

議員の発議により、四案件の意見書が提出され、すべて原案どおり採択されました。

### 県立神石三和病院の存続に向けた意見書

提案者 赤木 健二  
賛成者 久保田 龍 泉

### 地方の道路整備の促進に関する意見書

提案者 渡邊 俊徳  
賛成者 小坂 大 輔

### 教育予算の充実と義務教育費

### 国庫負担制度の堅持を求める意見書

提案者 松本 彰 夫  
賛成者 赤木 健 二

### 分権時代の新しい地方議会制度の

### 構築を求める意見書

提案者 村上 克 朗  
賛成者 佐伯 卓 師



高自治振興会の研修

# あなたの声を町政に

九人が一般質問（質問順）



がんばれ！！油木高校野球部

## 問 教育委員会の機能は

### 答 指導者の充実等基礎づくりだ



小林 貢議員

**Q** 新教育長として、教育行政の機能すべきポイントをどの様に捉え、どの様な抱負をお持ちか。

**A** 教育長

教育行政の当事者能力を高めると共に学校・家庭・地域の連携が重要であり、情報開示による共有化、教育行政機能の充実のため、専門的職員の配置、指導者充実のた

めの研修等基礎作りがポイントとなる。

子どもの生きる力を育てる教育、それを支える地域社会の創造をめざし学校・地域社会にアンテナを向け、行動力をもって最善を尽くしたい。

**Q** 県立油木高校の存続在の関わり、今後の対応策は。

**A** 教育長

どんな子どもを育てるか、中学校のゴールのイメージは地元油木高校への進学であり、高校が充実し開花する事である。昨年度の入学者減を踏まえ、取り組みについての検証、課題整理をし、

現在、関係機関と取り

組みについての協議・各中学校の高校への体験入学・新町での油木高校を育てる会の新組織構築等が進められているが、会合ある毎に油木高校の特色や地域での役割についての周知も図っている。早速に中高担当者の意見交換、高校のPR周知等関係機関との連携を密にし取り組む。



## 問 県立神石三和病院存続の見通しは

### 答 県の地元移管の意思は極めて強い



片山元八郎議員

**Q** 県立神石三和病院の存続を願ひ、議会と執行部共同歩調で二度県庁へ出向き、陳情等を積極的に行ってきた。

五月九日、あくまでも県立での存続を求め、福祉保健部長に提言書を手渡した。部長は「地元移管に当たり、神石高原町民に不安を与えないよ

う、説明責任を果たし、ソフトウェア（軟着陸）を目指したい」「県が具体的な提言をする窓口を町当局に設置してほしい」と言われた。

これまでの経緯から、県立神石三和病院の存続の見通しはどうか。

**A** 町長 県立のままで公設民営化を求めたが、県の地元移管の意思は極めて強い。合併前の確認書等は白紙に戻す。瀬戸田病院の地元移管が平成十八年なので、神石三和病院は十九年以降となる。事務レベルでの協議を五月三十一日開始した。

**Q** 小島出身の加納医師が、県立神石三和病院の行方を心配され、何度も書簡を頂いた。先生は県立での存続は百パーセント不可能と断言され、「認定医療法人」となる受皿がベストと言われた。「認定医療法人」とは？

**A** 町長 勉強不足だが、アメリカ型の非営利法人を基に二〇〇六年度法制化の予定。地域密着型の医療制度の立ち上げと認識している。



町道泊木豊松線

## 問 公共事業に町内業者を

### 答 基本的には町内業者を優先



松本彰夫議員

**Q** 町内の公共事業は、建設工事指名業者選定要項にもつき、指名されている。土木工事は、一億円以上は大手業者を指名し、町内業者は入れない。町内の雇用の確保、地元企業の育成という観点から町内業者を優先するべきではないか。

**A** 町長 基本的にはそう考えている。特殊な事業については管理能力の問題もある。地元企業も研鑽努力して頂きたい。

今後は、原則的には地元業者を優先するように努める。

**Q** 油木地区の学童保育を充実させるため会場を変更するよう要望が出ている。早急に取組むべきではないか。

また、障害児の受け入れについて、どう取り組むのか。県では指導員の加配について補助制度もある。

**A** 町長 学童保育の会場については、総合学習棟を使用すべきと考える。教育委員会とも協議し、早く結論を出す。

**助役** 障害児の受け入れは、子どものためにベターな対策をとる。調査し、必要なら指導員の加配も行う。

**Q** 老人介護事業について委託料など統一すべきではないか。

**A** 町長 委託業務について、緊急通報システムなど施設により差がある。今までの経過もあるが、是正して統一したい。



学童保育

**問** 地産地消と食育の取り組みは

**答** 地元産の利用に努めたい



赤木健二議員

施設等関係機関と協議して、地元産食材の利用に努めたい。

**Q** 町長は本町を教育立国にしたいとの所信

の例を見ても立証されている。

を明らかにされている。  
地元農産物を使った学校給食を実施できないか。

米をはじめ、野菜や果物、加工品等大半の食材が地元で賄える。

地元農家での体験学習  
や食文化を学習すること  
により、正しい食生活の

十八年度から食育を基  
に教育立国の第一歩を踏  
み出しては。

指導と生活習慣の確立が  
でき、教育効果が上がる  
ことも、各地の教育現場

**A** 町長 ハードルがあるが、意見には賛成である。

第一段階として、町内産の米使用について、県・学校給食会・地元販売

**Q** 職員の専門的な研修の状況は。十年後の職員数は一七〇人程度の方針に変わりはないか。

**A 町長** 福祉事務所の開設に向けて、二名を研修予定。

職員数については、極限委譲一八〇項目の動向によるが、定数の変更はない。

**問** 行政懇談会の開催は

**答** 要請があれば出席する

**Q** 町民の中には、町長の顔を知らない方がおられる。町の現状や課題を説明されることが必要では？

がなく、時期尚早である  
自治振興会の行事の中  
で、要請があれば私一人  
が出ていき、懇談したい。

**A** 町長  
行政懇談会の定義と

**Q** 町のシンボルとなる町花・町木を制定し、

しては、幹部職員を引きつれて地域に出ていくことを考える。時間的余裕

町づくりを進める必要があると思う。いつ作業に取り掛かれるか。

**A**  
町長 合併協

**A** 町長  
合併前に調整したこ

のつたこともある。町の特色であるので、制定委員会を設けて早急に制定したい。

とである。サービスが高くなった地域または低くなった所もあるが、それが調整である。不満はあろうがご理解願いたい。

**Q** 福祉タクシーの支給条件は、本人非課税であるが、但し、同居人

**Q** 粗大ゴミの収集場所が、九力所から五力



久保田龍泉議員

で所得があれば支給されない。これでは勤めに  
出た場合、やむなくタク  
シーを利用せざるをえな  
い。支給の見直しをすべ  
きでは？

**A** 環境衛生課長  
町内で十三カ所指定  
しており、他地区との均  
衡を図った。



油木小学校給食



## 問 担い手の育成支援策は

### 答 集落営農を推進



小坂大輔 議員

**Q** 担い手の高齢化により家族経営による農業も不安定感を感じる時、集落営農が担い手として位置づけられたことは意義あることだと思う。「集落営農」への推進計画、支援策は。

**A** 町長 土地利用型専業農家の育成・支援策は、「農業公社」の育成強化が望まれるが、育成策は。

を理念とするなら「集落営農」は必要であり、支援策を考えたい。二つの「農業公社」があり、費用対効果を考えながら一体的な公社にしたい。「企業」参入による農地保全は、県の業者への指導のあり方を見ながら町としての対応を考えたい。

**Q** 井関地区の第一種農地四ヘクタールの活用は。

**A** 町長 神石高原町総合開発計画の提案を、専門業者に委託している。

手として、農地の利用集積を期待されているが、

**A** 町長 農地を守る、人を守

るを理念とするなら「集落営農」は必要であり、支援策を考えたい。二つの「農業公社」があり、費用対効果を考えながら一体的な公社にしたい。「企業」参入による農地保全は、県の業者への指導のあり方を見ながら町としての対応を考えたい。

**A** 町長 神石高原町総合開発計画の提案を、専門業者に委託している。

**A** 町長 神石高原町総合開発計画の提案を、専門業者に委託している。

**A** 町長 宝の持ち腐れ財産もあり、売却の方向で検討していきたい。

農事法人よしざこ（産業建設常任委員会）



千ばつ被害田

## 問 千ばつ緊急対策を

### 答 調査して対応する

**Q** 十一年ぶりの大干ばつに見舞われている。今後もしばしば減収は免れない。

**A** 町長 個人補助は調整上難しいと思っているが、調査した上で十分対応はしていきたい。

**A** 町長 導入すれば計画のプロジェクト事業になる。現計画をフォローする意味からもこの事業に取り組みたい。

**A** 町長 県道も一・五車線改良が主流、町道も計画を見直しスピードアップしないと高齢化社会にマッチしない。

**A** 町長 宝の持ち腐れ財産もあり、売却の方向で検討していきたい。

行政の普通財産は不稼働資産が多く、売却したかどうか。

行政の緊急対策が必要ではないか。

**Q** 新町建設計画への新規事業として、総事業費一七〇億円の「特定中山間保全整備事業」を

導入したら、全体的にも波及効果が期待できるのでは。

建設課長 一・五車線にした場合、

延長で一・四倍で、四年計画なら二十年九月月で完成する。

9 神石高原町議会だより No003 2005.7.15

## 問 チャイルドファーストの施策を

### 答 前向きに検討する

**Q** 少子化対策は、あくまでも「子どもの立場」からの取り組みが大切であり、「生まれてきて良かった」と思われる社会を築くため、「チャイルドファースト」(子ども優先)の施策を総合的に実施すべきでは。

**A** 町長  
一次世代育成支援計

画」により取り組んでいるが、さらなる支援は前向きに検討したい。

**Q** 絵本を通して楽しく子育てをし、さらに親子のコミュニケーションのための「ブックスタート」を実施すべきでは。

**A** 町長  
図書館の整備・充実をして対応したい。  
教育長  
読書は、子どもが言葉の学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かにする。人生をより良く生きるため、欠かすことができないもので、基礎学力の基盤をなすもの



寄定秀幸 議員

であり、乳幼児期から本と親しむ環境づくりは必要である。  
福祉保健課長  
検討し取り組みを考え

**Q** 学校運営協議会制度導入は。

**A** 教育長  
当面、学校評議員制度を推進していく。

**Q** 連日の猛暑の中、学校の暑さ対策はどう

**A** 教育長  
窓の開放で対応し、エアコンや扇風機は設置しない。  
**Q** 園芸療法を介護予防に取り入れるべきでは。

**A** 福祉保健課長  
希望があれば、行政としても推進す



小島保育所七夕

## 問 財政改革と建設計画について

### 答 主体性を持って自ら取り組む



木野山孝志 議員

**Q** 財政再建に向けての財政審議会は二本立てと聞いている。基本は住民参加、情報開示だと思うが、どうなっているのか。名称、委員構成、指針、支所機構等具体的に。

**A** 町長  
行財政審議会はス

ターゲット時点から町長が本部長として指針を行財政改革大綱として策定しそれを民間で充分審議していただき、よりよい大綱に仕上げる。委員数は十名を予定し準備中である。建設計画は最初から見直しありきでは無く、合併協定の約束事は充分

に尊重して改革を行う。支所機構については基本的に行政改革大綱の中で示したい。

**Q** 町全体を観光資源と考えると、町の長期総合計画に観光をどう位置づけるのか、都市等との交流について具体的に

**A** 町長  
町全体を観光資源と考える事は私も同感である。担当課を企画課に代えたのは将来の企画性をもたせるためであり、町の産業振興の中で観光を重要な位置づけにしたいからだ。神石高原町全体の自然を生かし備後都市

圏のふると、里山づくりにとも考えている。高原町のネーミングから「神」が宿るふるとづくりを都市との交流の中で形成したらどうか。都市等との姉妹縁組、交流については、十八年三月の段階で行政も落ち着いたところで協議し決定したい。



ピープ天国

# 委員会報告

## 福祉文教常任委員会 尾道市立土堂小学校を視察

福祉文教常任委員六名と教育長で、平成十七年五月十二日、尾道市立土堂小学校を視察した。

最初、四年生（二十二名）と五年生（二十七名）の授業が公開されたので、四十分間授業参観をした。

授業は、四十五分をモジュールで、十五分を一区切りとし、「読み・書き・計算」の徹底的なドリル学習を展開。四年生の授業で、孔子の「論語」を、音読・暗誦させていたのには驚いた。また、十マス計算（百マス計算で有名）で掛け算を「何秒で答えを出すか」を競争させる。先生が、ストップウォッチを片手に、スピードを競わせていた。

その他、授業での感想を列挙する。①集中させるため、先生が常に適切な評価を行う。例えば、「女子の方が元気がよいな。暗誦を班で交互にやらせる時、順番でない班を評価し（口を動かしているから素晴らしい）。姿勢の悪い子には（〇〇君、地球にとっしり足がついてないよ」等評価活

動を重視。②字を書くのは、すべて鉛筆を使用。シャーペン使用児童皆無。③パソコン教室で、文字を書く時、鉛筆を正しく持ったための、矯正器具を使用（参観者、いたく感心）。

④五年生のMJ（黒板の板書より）転記。○発声。○早口言葉。○いろは。○漢字練習。熟語辞書引き。○十マス計算。○百人一首。

授業参観の後には、超有名な陰山校長の講話を聞く。教育者というイメージでなく、会社の経営者という感じ。「理論じやありません。すべて結果ですよ」。確かに、今春卒業の二十七名の進路先が凄い。広大付属福山に四名受験して三名合格。広大付属三原に一名受験し合格。西条の中高一貫校に六名受験し、全員合格。

大変驚いたことは「読



陰山校長の説明

大変驚いたことは「読

み・書き・計算」の徹底的なドリル学習により、知能指数が飛躍的に向上したとの事。

「早起き・早寝」する子は、成績が良い。（早寝・早起きではなく、親が早く起こして、脳を覚醒させる）。陰山校長は、兵庫県出身。教諭からの公募で、校長に登用さ

れ、三年目。地域から実績を評価され、六学級から現在九学級に増えている。

視察の事前学習資料として、議長から、陰山校長の文芸春秋への投稿記事「特集 教育再建」のコピーが配布されていたので、中身の濃い視察となつた。



土堂小学校授業参観



## 福祉文教常任委員会 南国市の食育を視察

福祉文教常任委員六名と教育長で、南国市教育委員会と後免野田小学校（アンパンマン作者、やなせたかしの母校）を平成十七年六月七日視察した。最初、南国市（な

んこくし）（人口約五万人）の市役所で、地産地消、食育に関するビデオ試聴。続いて、市教委の西森教育長（三期、十年目）の地産地消、食育に関する実践について説明を受けた。

その後、市役所近くの後免野田小学校に出向き、小学校一年生の給食、配膳指導を参観した。西森教育長、スタッフによる説明の主な点は、以下のとおり。

○「食育」は、かつては市民権を得ていなかった。平成十一年度から、知育・徳育・体育と並ぶ教育理念に「食育」の位置づけをした。

○校長在職時代、やり残したことが二つ、即ち「学校給食」と「学童保育」である。

○戦後、学校給食の果たして来た役割は、大きな成果を残した。今後は「飢え」からの解放、「平等主義」といったアメリカ型農政に替わる「食育」の推進が重要と考える。

○学校給食に対する国からの援助制度は終わった（平成十二年

度から、米飯補助金を出さない）。わが古里は、自らの智慧で築く以外に道なしと思慮。

○平成十一年度より、「学校給食」の業者委託をやめ、自校給食へと切り替えた。各学級ごとに、電気炊飯器を設置して、米飯給食実施率は、高知県が全国第一位。

○永い歴史に支えられた、米を中心とする日本型の食文化へのこだわりが、米飯完全給食の原点。

○地産地消のメリットは、生産者と消費者を結び、顔が見える信頼関係の構築である。

○「食教育」を通じ、「ありがとう」（感謝）「がんばるさい」（食べ残さない）の言える教育を目指している。

○地産地消、食育をここまで推し進めることが出来たのは、浜田市長との絆のおかげである。

○平成十五年四月より、月曜から金曜まで、すべて行っている。現実組合との交

渉は、米飯給食を実施して三年という短期間で妥結。労働過重となるが、「子どものために」という一点で協力を得られた。



後免野田小学校給食

また、農業委員会（特に会長の後押し）による全面的なバックアップ体制が奏功した。年間二〇組の視察を受け入れている。

○トップは、常にリスクを背負い決断しないと役人の「前例踏襲主義」の打破は不可能である。

# 総務企画常任委員会 ふるさとふれあい事業等調査

日時 平成十七年六月  
十三日（月曜）

場所 本庁第一会議室

平成十七年度総務企画常任委員会では重点課題として、次の事項を調査研修することとしました。

一、ふるさとふれあい事業の調査

二、町有財産の指定管理者、維持管理の取り

三、財政健全化へ向けての講習会

四、情報化推進の取り組み状況

このうち十三日の協議事項は

一、ふるさとふれあい事業の現状について

企画課長に十六年度の事業報告と十七年度の事



よしもと新編劇

業説明を受けた。内容は別表のとおり。

## 平成 16 年度ふるさとふれあい事業（表 1）単位：円

|               |                    |                 |
|---------------|--------------------|-----------------|
| 予算額<br>800 万円 | 実施済み額<br>7,549,795 | 未執行額<br>450,205 |
| 未執行額<br>（内訳）  | 油 木 地 区<br>163,000 | 神石地区<br>270,205 |
|               | 豊 松 地 区<br>17,000  | 三和地区<br>0       |

申請事業不採択状況は宗教行事と自治振興会通常行事二の計三件でした。

補助団体に補助事業をする場合、各地域からでた計画書は各支所の判断が色々あるが、目的に違つたものは少なかった。

事業計画は十年間であるが、事業費が期間内に計画が変わるのではないが、行政指導型の予算使用が何割かは試用する。

|        | 油 木        | 神 石        | 三 和        | 豊 松        | 合 計         |
|--------|------------|------------|------------|------------|-------------|
| 事業計画済み | 10,486,000 | 3,004,374  | 6,050,000  | 5,134,200  | 24,674,574  |
| 一般事業扱い | 6,650,000  | 4,177,000  | 1,810,000  | 4,810,000  | 17,447,000  |
| 未決定額   | 7,864,000  | 17,818,626 | 17,140,000 | 15,055,800 | 57,878,426  |
|        | 25,000,000 | 25,000,000 | 25,000,000 | 25,000,000 | 100,000,000 |

委員の質問で、助成は事業費の一〇〇%でいいのか、八〇%であるのか、一〇〇%の事業があるが、内容によつては一〇〇%の事業もある。

九月までに計画書が提出され予算化できないか、各地区の事務局や公民館長によつて違つてくる。

二、指定管理者制度の現状と方向について  
入江総務係長から制度概要について説明を受けた。

平成十五年六月地方自治法が改正され、民間事業者のノウハウの活用で、民間事業者等（指定管理者）へも施設管理委託が可能となった。

そのためには、条例の定めが必要であり、指定管理者の指定はあらかじめ議会の議決が必要である。

四、情報化推進の取り組み  
一月中に調査検討する。

## 産業建設常任委員会

# 農地の荒廃をどう防ぐか 町内の農業法人などの現地調査

産業建設常任委員会で

ました。

- ①農地の荒廃をどう防ぐか。
- ②農業法人、公社の活動と今後の方針
- ③特産品販売施設の実情と課題。

は、今年度の重点課題を調査を行い、実情の把握と今後の課題などを調査した。

◎調査箇所建設課関係  
町営住宅 十八団地及び高齢者向け特定優良賃貸



来見堆肥センター

- 住宅建設予定地（豊松）
- ・町道高蓋日別線
  - ・町道時安線
  - ・町道小学校岡崎屋線
  - ・町道宗兼中線
  - ・町道油木豊松線
  - ・町道仁後線
- 産業課関係
- ・農事組合法人くわぎ
  - ・来見堆肥センター
  - ・豊松陽光の里公社
  - ・西油木機械利用組合
  - ・農事組合法人よしがき
- ◎実情と仮題
- ＊町営住宅
  - ＊公営住宅
  - ＊特定公共賃貸住宅
  - ＊三十一戸（空き二戸）
  - ＊単独住宅
  - ＊六戸（空き二戸）
  - ＊若者住宅
  - ＊四戸（空き二戸）
  - ＊消防職員用待機住宅
  - ＊二四戸（空き二戸）
- 合計二百十八戸（空き十九戸）で、入居者は団

地によってばらつきがある。

豊松地区の高齢者向け住宅団地では、団地内の集会所が計画されているが、再検討すべきである。

＊町道について

いずれも、事業採択が決まっているもの、工事の路線である。

二次改良の計画もあるが、今後の採択に当たっては、緊急性・重要性を考慮して採択すべきである。

力がされている。

水稲を中心に、飼料稲、野菜を組み合わせて取り組まれている。労賃など経費を抑えて運営した結果、黒字となり法人税を納めるといふ矛盾もあり、経理事務、税対策の研修も必要である。

＊豊松陽光の里公社

＊農作業の受委託、野菜水稲苗の販売、公共施設の維持管理の受託、特産品の販売に取り組み、黒字経営が行われている。



農業委員会との懇話会

が、補助金が投入されていることである。農業公社は、三和地区と二つある。組織統合も含め、今後のあり方が課題である。

後継者不足と高齢化が進む中、農地の荒廃を防ぎ農業を守るためには、農業法人、公社、地域営農集団の組織化は必要であり、行政の指導、補助は不可欠である。

また、施設・機械更新時の負担が大きな課題である。



# 県立神石三和病院の存続を求めて

## 県立神石三和病院存続に向けての経過

### 《委員会活動経過》

平成十七年二月九日、福祉文教常任委員会の活動として神石三和病院側と、委員会と

の懇談会を設ける。

常任委員会活動での病院存続は、限界があり、三月定例議会において、県立神石三和病院存続対策特別委員会を設置。

## 四月十四日

県立神石三和病院の存続を求めて陳情活動

県庁に向き、藤井県議同席、執行部、議会同一歩調で、県立での存続を要望。

《要望、協議の要旨》

町、議会から

＊県立神石三和病院を県立のままで存続してほしい。

＊広域性がなくなったという理由では、納得がいかない。地元移管に関しは、財政問題、医師確保、指定管理者制度への運営等、すべてが不安である。

＊神石高原町が発足したが、極めて財政的に厳しく、病院の赤字を補填できる余裕はない。

＊良い医師を配置すれば、病院経営もうまくいくので県の経営改善をお願いする。

＊県は病院の廃止ではないというが、公設民営

でも民間が運営すればいずれは廃止につながると先を読んでおり、不安原因になっている。

病院事業局から

＊広域性という県の役割が薄れていることから、地元移管の方針を出しており、この方針を転換できる状況にないの、前向きに協議を進めたい。

＊地元移管により、保健、医療、福祉の連携強化等、住民サービスの向上が図られると考えられる。

＊地元移管に係る事務的な協議に入らせてもらいたい。

＊県立神石三和病院の存続を求めて陳情、県庁に出向き、提言書を福祉保健部長に手渡した。

（提言書の内容は、あくまで、県立での病院存続の提言です）

陳情の状況は次のようであった。

## 五月九日

県立神石三和病院の存続を求めて陳情、県庁に出向き、提言書を福祉保健部長に手渡した。

（提言書の内容は、あくまで、県立での病院存続の提言です）

陳情の状況は次のようであった。

＊四月十四日の病院事務局との懇談時より、部

## 県立神石三和病院の存続に向けた意見書（要旨）

県立神石三和病院は、県立小島診療所から県立小島病院に昇格以来、半世紀の間、地域の拠点病院として、住民の命と健康を守るために、充実した医療を提供してきた貢献度は、多大なものがある。

三月十八日、川崎病院事業局長が来町し「平成十九年四月、地元移管を進める」との県の方針を伝えたことを受け、議会では直ちに全会一致をもって「県立神石三和病院存続対策特別委員会」を設置した。

平成十七年五月九日、県立神石三和病院の存続を求めて、正式提案を行い、新本福祉保健部長に「県立」としての県立神石三和病院の存続を求める「提言書」を渡したところである。財政が逼迫する中、神石高原町が県立神石三和病院を引き受けることは、到底不可能である。

以上の経緯・諸事情から、あくまでも「県立」としての県立神石三和病院の存続を強く要望する。以上、地方自治法第九十九条の規定により意見書を提出する。

平成十七年六月二十四日

広島県神石高原町議会

長への対応はやや柔軟と  
思えた。

＊地元移管にあたっては、町民に不安を与えないよう、説明責任を果たし、ソフトランディングを目指したい。

＊今後、地元移管をソフトランディングさせるため、県が具体的な提言をしていく窓口を、町当局に設置してほしい。

＊今後も県立神石三和病院の機能がどうあれば



# グループ紹介

## 仙養東自治振興会

### 「上野大仙会」



高原のふる里「うなぎ」  
上野といえば「大仙会」  
大仙会といえは「うなぎ  
のつかみどり」。  
大仙会は、今から十  
年前地元消防団が中心  
に、地域の発展と活性化  
を願って結成しました。  
春は桜を植え、夏は「う

なぎのつかみどり大会」、  
冬はお餅をついて子ども  
達の手紙を添えお年寄り  
にプレゼント、地域の人々  
とかわつてきた会です。  
十年前植えた桜も今では  
農作業の手を休め、花見  
を楽しんでいただけのよ  
うになりました。

上野地域には人々が集  
う広場が無いので、会員  
や子ども達も総動員の作  
業で草を刈り木を倒し、  
芝を植え、イベント広場  
とランドゴルフ場を造  
成しました。

八月十四日の「うなぎ  
のつかみどり大会」には  
毎年三〇人以上のお客  
様を迎え、子ども達の歓  
声と応援の声が上野川に大  
きく響きわたります。と  
れたてのうなぎをその場  
でさばき、蒲焼きで食べ  
るその味は格別です。心  
を込めて焼くやきそば  
や金魚すくい、ヨーヨー  
つり、ビンゴゲームなど、  
楽しさいっぱいです。

四回目をむかえた「グ  
ランドゴルフ大会」では  
一〇歳を元気にむかえ  
られた定木ミズ子さんの  
始球式でスタートし、子  
どもからお年寄りまでが  
一緒になって楽ししまし  
た。これからも地域に活  
力と希望を与えること  
のできる楽しい大仙会であ  
り続けたいと願っております。

### 編集後記

春先からの少雨、そし  
て空梅雨かと心配されま  
したが、今月に入り、よ  
うやく雨が降り農作物は  
一安心。水不足はどうに  
か解消。集中豪雨は困り  
ますが、水のありがたさ  
を実感。

六月から、省エネルギー  
の一環でノーネクタイ、  
ノー上着を議会も実施中。  
環境保護は身近なところ  
から、温暖化防止に少し  
でも役立てれば、  
暑い夏が予想されます。  
夏バテのないよう水分補  
給をしっかりと、厳し  
い夏を乗り切りましょう。

（八）



NHK お好みワイドに出演